

# Dell S3220DGF

## Dellディスプレイマネージャー ユーザーガイド

モデル：S3220DGF  
規制モデル：S3220DGFc



- **注意:**注意は、コンピュータをより使いやすくするための重要な情報を示します。
- △ **警告:**警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。
- ⚠ **危険:**危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

**Copyright © 2019 Dell Inc. またはその子会社。 All rights reserved.** Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2019 – 09

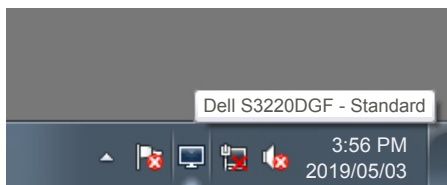
Rev. A00

# 目次

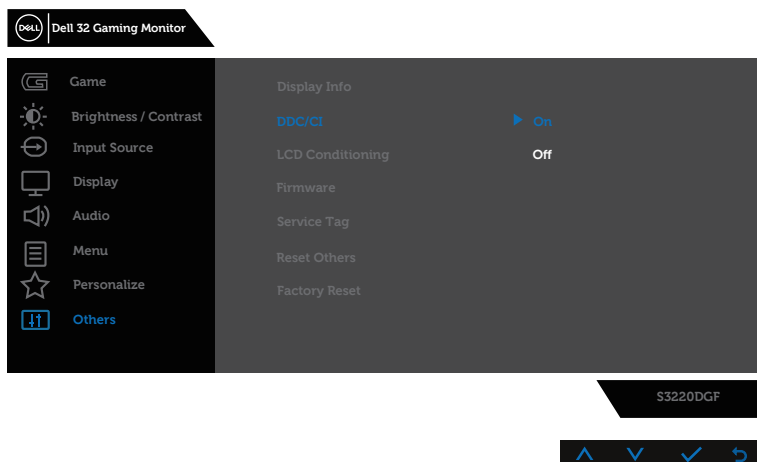
概要 .....	4
クイック設定ダイアログの使用 .....	5
ベーシックディスプレイ機能の設定 .....	7
アプリケーションへのプリセットモードの 割り当て .....	9
簡単な配列でウィンドウを整理する .....	10
複数のビデオ入力の管理 .....	13
アプリケーション位置の復元 .....	14
DDM をアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10 のみ) .....	17
省エネルギー機能の適用 .....	18
トラブルシューティング .....	19

# 概要

Dell Display Managerは1台のモニターまたはモニターのグループを管理するために使うWindowsアプリケーションです。表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、画像の回転、選択したDellモデルのその他の機能を可能にします。一度インストールすると、システム開始時に毎回Dell Display Managerが起動し、通知トレイにアイコンが置かれます。この通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されたモニターの情報がいつでも得られます。

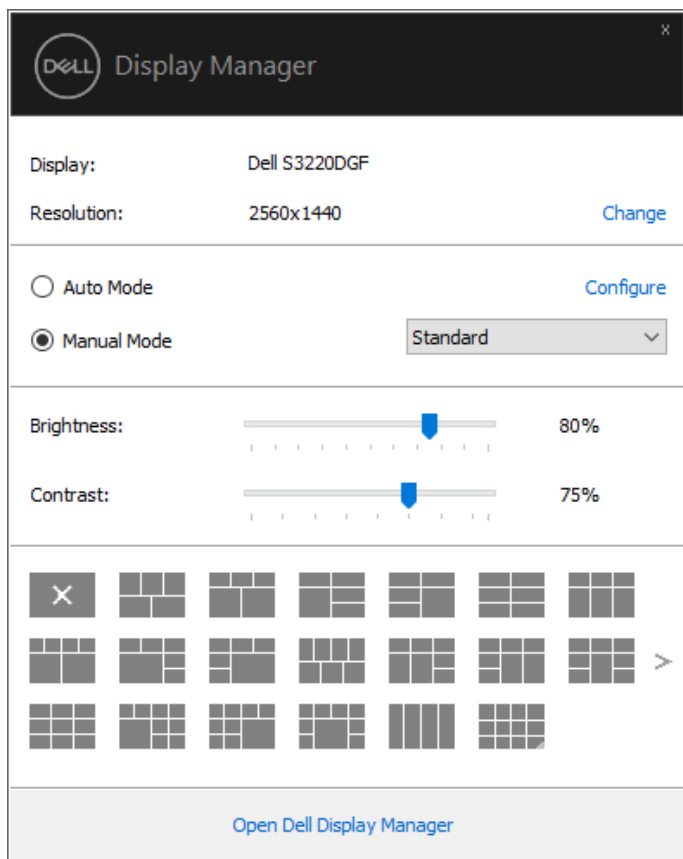


**注意:** Dellディスプレイマネージャーでは、お使いのモニターと通信するためにDDC/CIチャンネルを使用します。DDC/CIを以下のようにメニューで有効にしてください。



# クイック設定ダイアログの使用

Dellディスプレイマネージャーの通知トレイアイコンをクリックすると、**Quick Settings (クイック設定)** ダイアログボックスが開きます。2台以上のサポートされたDellモデルがシステムに接続されている場合、メニューを使用して特定のターゲットモニターを選択できます。**Quick Settings (クイック設定)** ダイアログボックスにより、モニターの輝度およびコントラストレベルを便利に調整することができます。**Manual Mode (手動モード)** または**Auto Mode (オートモード)** を選択して、画面解像度を変更することができます。



また、**Quick Settings (クイック設定)** ダイアログボックスは、Dell Display Managerのアドバンスドユーザーインターフェイスへのアクセスを提供し、ベーシック機能の調整、オートモードの設定、その他機能へのアクセスに使用されます。



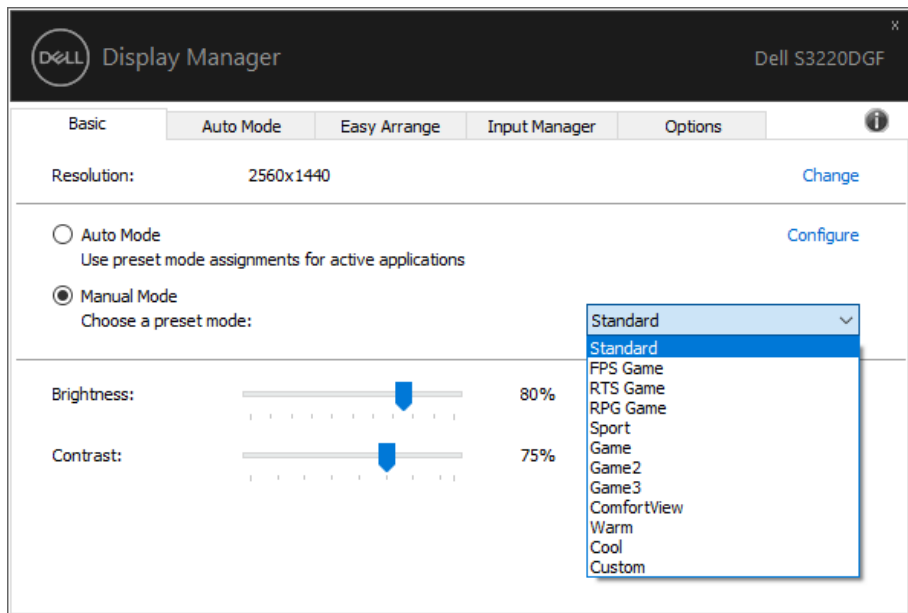
 **注意:**

特徴	機能	説明
クイック DDM アクセス	DDM UI を呼び出すためのクイックキー。	Ctrl+Shift+D  Page Up/Page Downキーを使用するか、「>」をクリックして、すべてのEasy Arrangeレイアウトを反転させます。
	マルチモニター設定で個別モニターを制御する	ドロップダウンボックスからモニターを選択し、選択したモニターにDellロゴを表示させます。  DDM UIを制御するモニターに移動させます。  Ctrl+Shift+Dを押して、マウスポインターの下にミニUIを表示させます。



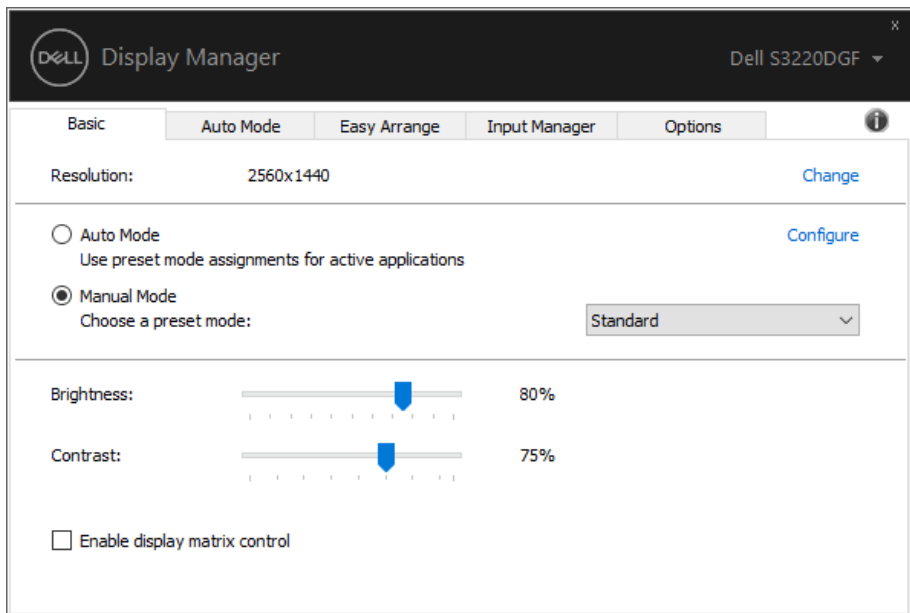
# ベーシックディスプレイ機能の設定

**Manual Mode (手動モード)** を選択して、プリセットモードを手動で選択したり、**Auto Mode (オートモード)** を選択して、アクティブなアプリケーションに基づいて、プリセットモードを適用したりすることができます。モード変更の度に、現在のプリセットモードが画面上に表示されます。選択されたモニターの **Brightness (輝度)** および **Contrast (コントラスト)** は、**Basic (ベーシック)** タブからも直接調整できます。



**注意:** 複数のDellモニターが接続されている場合、「ディスプレイマトリクスコントロールの有効化」を選択して、輝度、コントラスト、色プリセットコントロールをすべてのモニターに適用します。








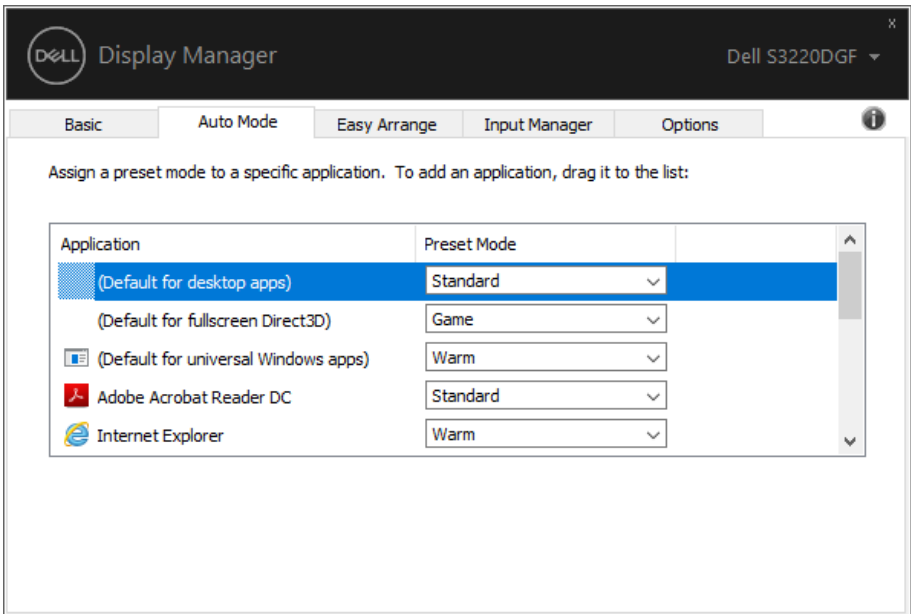
# アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

**Auto Mode (オートモード)** タブでは、特定アプリケーションに特定のプリセットモードを割り当てて、自動的に適用することが可能です。**Auto Mode (オートモード)** が有効な場合、Dell Display Managerは関連するアプリケーションがアクティブであれば、常に対応する**Preset Mode (プリセットモード)** に自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられた**Preset Mode (プリセットモード)** は、接続されているモニターすべてで同じ場合も、そのプリセットモードがモニターごとに1つずつ異なる場合もあります。

Dell Display Managerは多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windowsの[スタート]メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

 **注意:** バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブや圧縮されたファイルのような、非実行ファイルに対するプリセットモード割り当てはサポートされません。

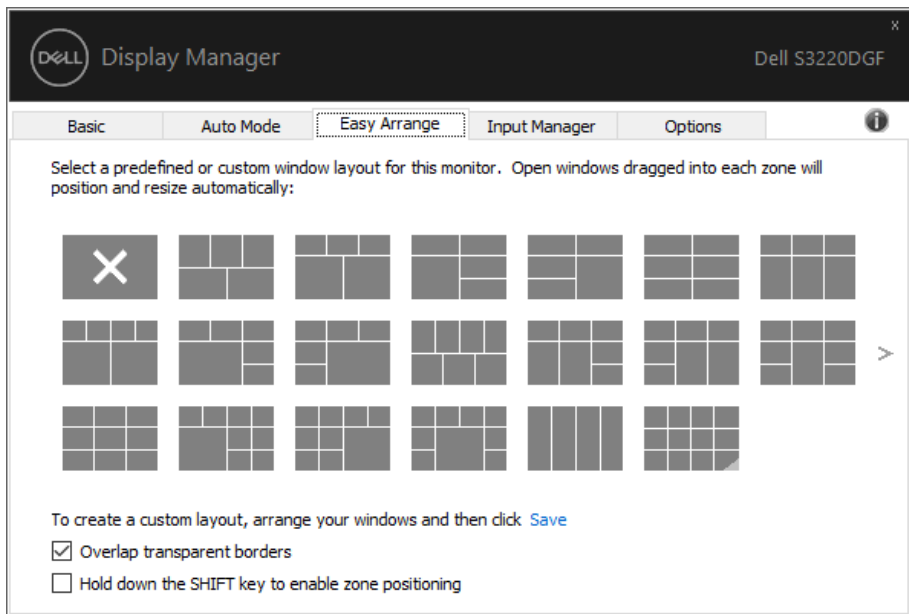
また、Direct3Dアプリケーションをフルスクリーンモードで実行するときには必ず使用するゲームプリセットモードを構成できます。アプリケーションがモードを使用しないようにするは、異なるプリセットモードを割り当ててください。




# 簡単な配列でウィンドウを整理する

対応するDellモニターでは、**Easy Arrange（簡単な配列）** タブを使って、事前定義されたレイアウトのいずれかで、開いているウィンドウをゾーンにドラッグすることにより、簡単に配列することができます。その他のレイアウトを検索するには、「>」を押すか、Page Up/Page Downキーを使用してください。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配列し、次に、**Save（保存）** をクリックしてください。

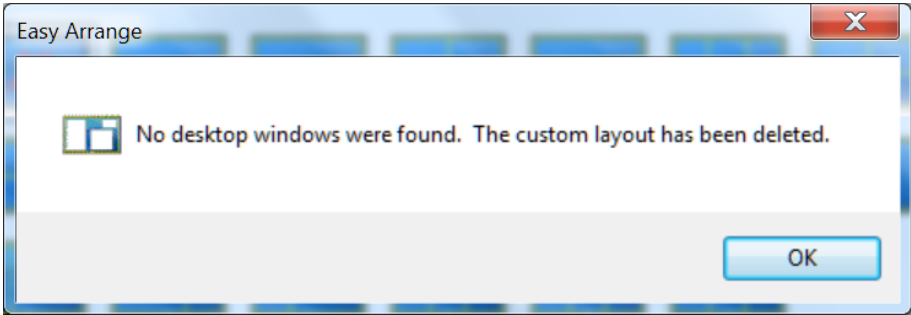
**Easy Arrange（簡単な配列）**を開始するには、利用対象のモニター選択し、事前定義されているレイアウトの1つを選択します。そのレイアウトの領域がモニターに一時的に表示されます。次に、開いているウィンドウをモニター内でドラッグします。ウィンドウがドラッグされている間、現在のウィンドウレイアウトが表示され、ウィンドウが領域の上を通過するとアクティブになった領域が強調表示されます。ウィンドウをアクティブな領域にドロップすると、その領域にウィンドウが置かれます。



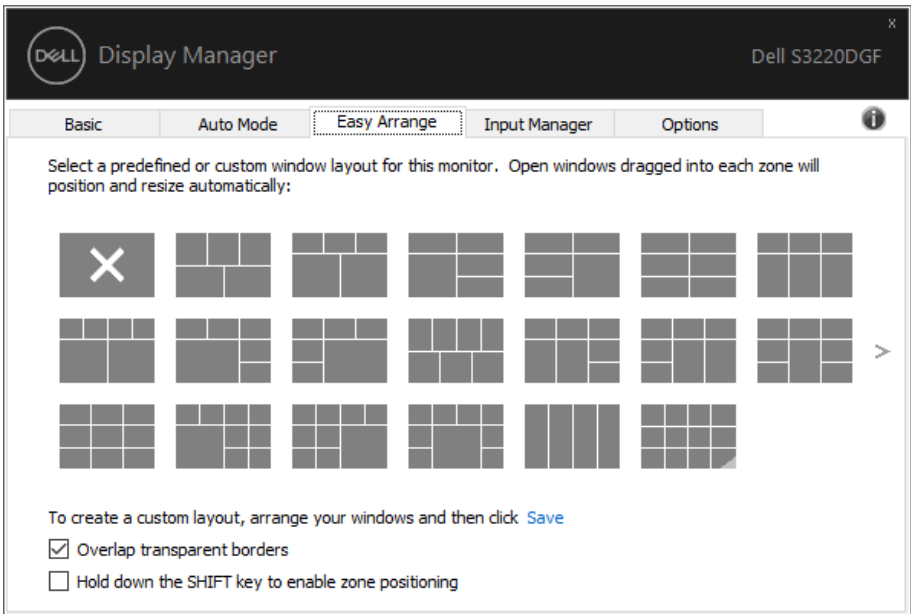
カスタムウィンドウレイアウトを作成するには、デスクトップ上でウィンドウ（最大10個）のサイズと位置を決め、**Easy Arrange（簡単な配列）**の保存のリンクをクリックします。ウィンドウのサイズと位置がカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

 **注意:**このオプションでは、開いているアプリケーションが保存されず、記録されません。ウィンドウのサイズと位置だけが保存されます。





カスタムレイアウトを使用するには、カスタムレイアウトアイコンを選択します。現在保存されているカスタムレイアウトを削除するには、デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じ、**Easy Arrange (簡単な配列)** の保存リンクをクリックします。



Easy Arrangeを使用するための他の高度な方法があります。  
以下の表を参照してください。

特徴	機能	説明
強化された Easy Arrange	カスタムレイアウト	5つのカスタマイズされたEasy Arrangeパターンを保存し、名前を付けます。 x*yパターンを構成します。
	5つのMRU（最近使用した）レイアウト	Ctrl+Shift+Homeを押して、最後の5つのMRUレイアウトの間を循環します。
	オンザフライパーティションサイズ調整	レイアウト内のセルのサイズと数を調整するには、Ctrlキーを押しながら、現在のEasy Arrangeレイアウトのサイズ調整を行います。  新しく形成されたEasy Arrangeパターンは、Easy Arrangeアイコン位置に保存されます。  デフォルトレイアウトに復元するには、Ctrlキーを押しながら、変更されたレイアウトアイコンをクリックします。
	縦表示モードのEasy Arrangeレイアウト	モニターを回転すると、縦表示モードのEasy Arrangeアイコンが表示されます。

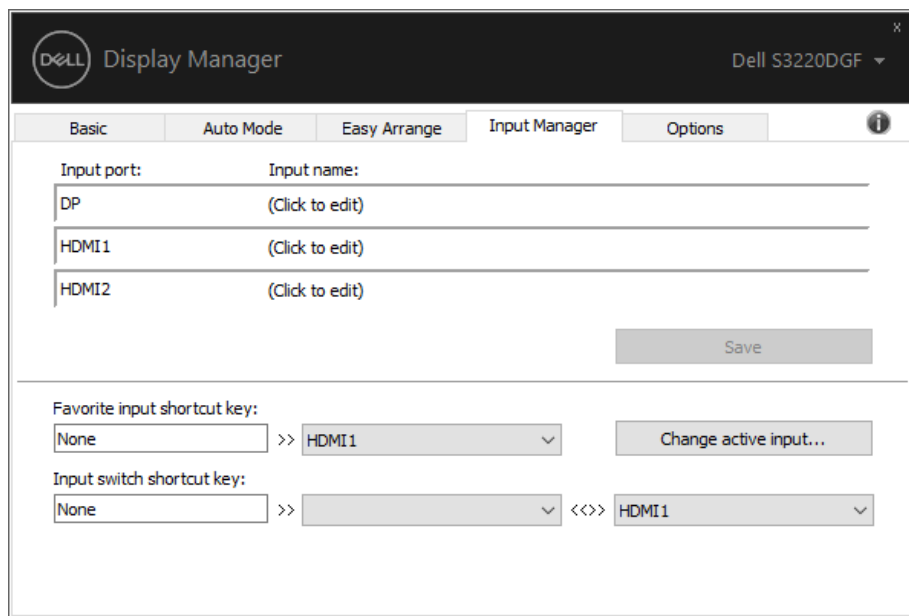


# 複数のビデオ入力の管理

**Input Manager (入力マネージャー)** タブでは、Dellモニターに接続されている複数のビデオ入力を便利な方法で管理できます。複数のコンピュータを使用しているとき、入力を簡単に切り替えられます。

モニターで利用できるすべてのビデオ入力が一覧表示されます。必要に応じて、各入力に名前を付けられます。編集後、変更内容を保存してください。

お気に入りの入力に簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。2つの入力で頻繁に作業する場合、その2つの入力を簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。



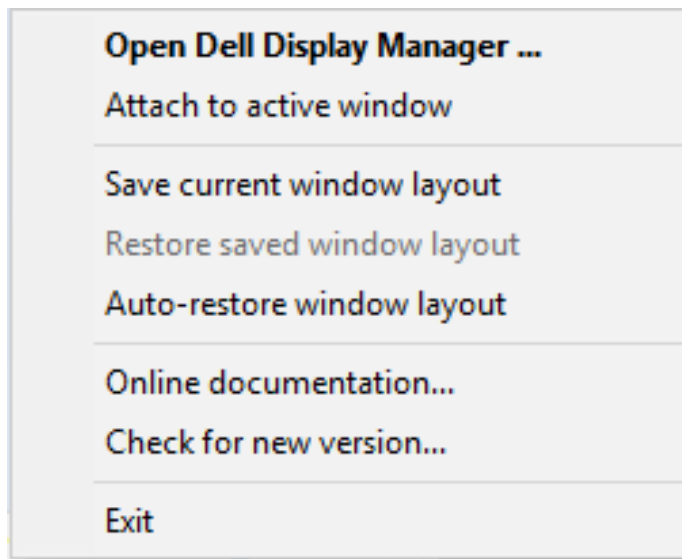
**注意:** DDMは、モニターが別のコンピュータからのビデオを表示しているときでも、あなたのモニターと通信しています。頻繁に使用するPCにDDMをインストールし、そこから入力切り替えをコントロールできます。モニターに接続されている他のPCにDDMをインストールすることもできます。



# アプリケーション位置の復元

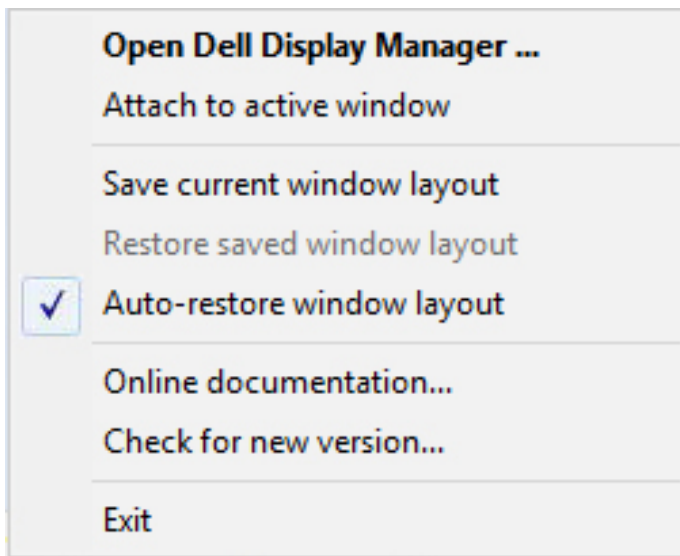
---

DDMにより、コンピュータをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを所定の位置に復元できます。通知トレイのDDMアイコンを右クリックすることにより、この機能に素早くアクセスできます。

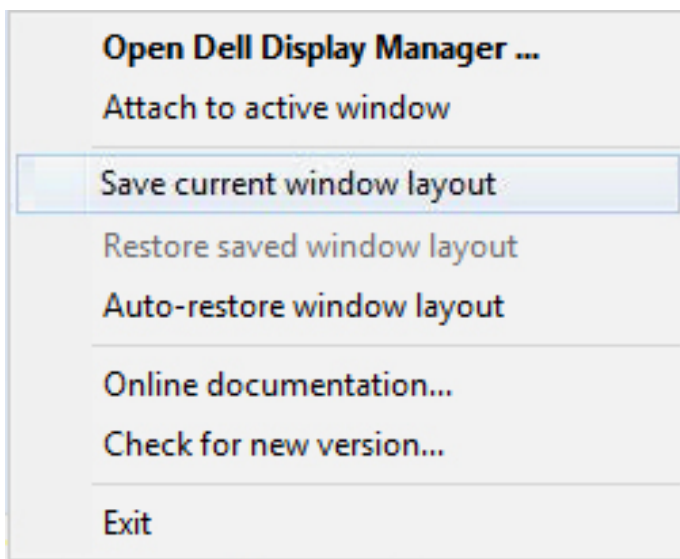


「**Auto-restore window layout (ウィンドウレイアウトの自動復元)**」を選択すると、DDMにより、アプリケーションウィンドウの位置が追跡・記憶されます。DDMは、PCをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを元の位置に配置します。






アプリケーションウィンドウを移動させた後、お気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず、「**Save current window layout (現在のウィンドウレイアウトを保存)**」を行い、後で、「**Restore saved window layout (保存されたウィンドウレイアウトを復元)**」を行うことができます。



日常業務において、異なるモデルまたは解像度のモニターを使用し、異なるウィンドウレイアウトをモニターに適用することができます。DDMは、接続されるモニターを認識し、それに応じて、アプリケーション位置を復元できません。モニターマトリクス構成内のモニターを交換する必要がある場合、交換前にウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを設置後、そのレイアウトを復元できます。

 **注意:この機能を活用するために、アプリケーションを実行し続ける必要がありません。DDMは、アプリケーションを起動しません。**

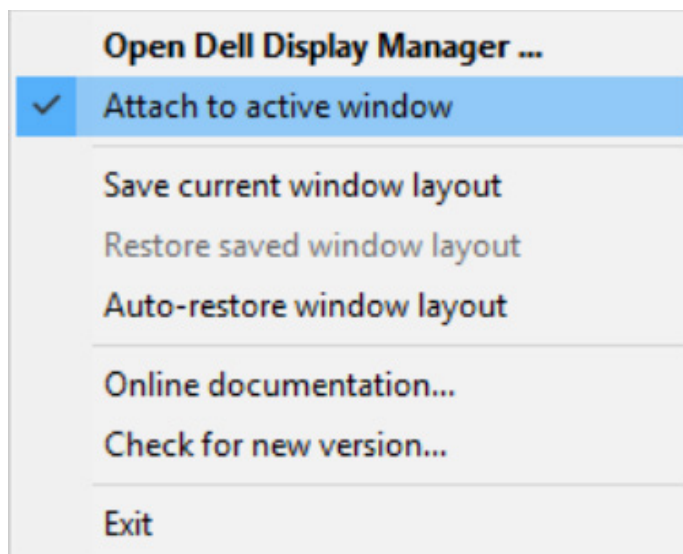




# DDM をアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10 のみ)

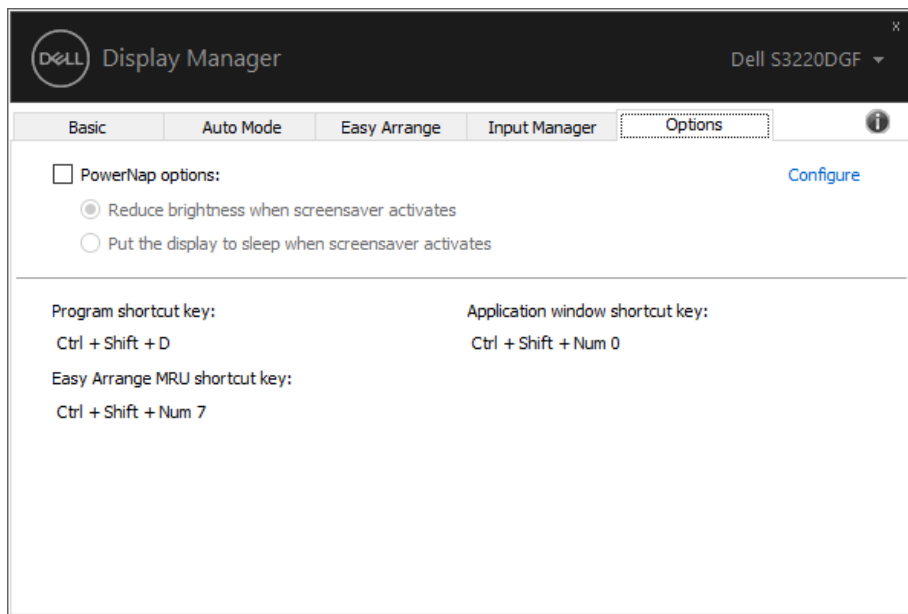
DDMアイコンを作業中のアクティブウィンドウに取り付けることができます。アイコンをクリックして、以下の機能に簡単にアクセスします。

特徴	機能	説明
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10のみ)	プリセットまたはスナップを異なるパターンに変更する	DDMアイコンがアクティブウィンドウに取り付けられ、ウィンドウ位置の切り替え、カラープリセットモードの変更、自動プリセットモードの関連付けを容易に行うことができます。
	ショートカットキーのトリガー	また、実行中のアプリウィンドウで、Ctrl+Shift+Insを押して、取り付けられたDDMメニューをトリガーできます。
	アプリウィンドウを Easy Arrangeセル間で移動させる	アプリウィンドウを前/次の Easy Arrangeに送ります。
	アプリウィンドウをモニター間を移動させる	アプリウィンドウを前/次のモニターに送ります。



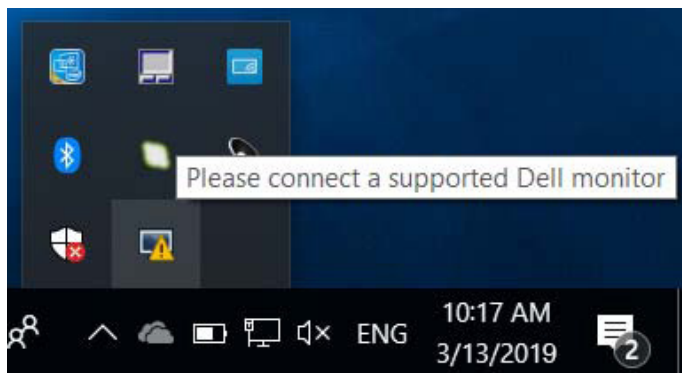
# 省エネルギー機能の適用

サポートされるDellモデルでは、PowerNap省エネルギーオプションを提供するために、**Options (オプション)** タブが利用できます。モニターの輝度を最小レベルに設定したり、スクリーンセーバーが有効になったとき、モニターをスリープ状態に移行させたりすることができます。



# トラブルシューティング

DDMが、お使いのモニターと共に動作できない場合、DDMは、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、**DDM**が、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDMは、Dellブランドのモニターでのみ動作することに注意してください。他のメーカーからのモニターを使用している場合、DDMは、それらをサポートしません。

DDMが、サポートされるDellモニターを検出できない場合および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うために以下のアクションを行ってください:

1. ビデオケーブルが、お使いのモニターおよびパソコンに正しく接続されていることを確認します。特に、コネクタをしっかりと所定の位置に挿入する必要があります。
2. DDC/CI が有効であることを確認するために、モニターの OSD をチェックします。



3. グラフィックスベンダー（Intel、AMD、NVidia など）から正しく、かつ、最新のディスプレイドライバを取得していることを確認してください。多くの場合、ディスプレイドライバが、DDM 故障の原因となります。
4. モニターとグラフィックスポートとの間のドッキングステーション、延長ケーブルまたはコンバータを取り外します。一部の廉価なエクステンダー、ハブまたはコンバータは、適切に DDC/CI をサポートしていない可能性があり、DDM を動作させることができない場合があります。最新バージョンが利用可能な場合、そのようなデバイスのドライバを更新します。
5. システムを再起動します。

DDMは、以下のモニターでは動作しない場合があります：

- 2013 年以前の Dell のモニターモデルおよび D シリーズの Dell モニター。更なる情報については、Dell 製品サポートウェブサイトをご参照ください
- Nvidia のベースの G 同期技術を使用するゲーミングモニター
- 仮想およびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- DP1.2 モニターの一部の初期モデルは、モニターの OSD を使用して、MST/DP1.2 を無効にする必要があるかもしれません

お使いのPCがインターネットに接続されている場合、DDMアプリケーションの新しいバージョンが利用可能なときにメッセージが表示されます。最新の DDMアプリケーションをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

また、「シフト」キーを押しながら、DDMアイコンを右クリックして、新しいバージョンをチェックすることができます。

